

一般社団法人
日本救急看護学会

トリアージナース認定更新 の手引き

日本救急看護学会

トリアージ委員会

I. 認定更新の目的

「本学会が認定したトリアージナースを対象に、救急外来における実践に基づき、患者治療効果の促進・満足度の向上・安全保証といった院内トリアージの質の維持と向上をめざし、貢献する看護師を継続認定する」ことを目的とする

II. 評価の視点：

1. トリアージナースの機能と役割について、実践している
2. トリアージプロセスを理解し、実践している
3. 自己の行ったトリアージ実践に対して評価でき、自己の課題が見いだせる

III. 対象（下記の要件をすべて満たしているもの）

1. 日本救急看護学会員であること
 2. 本学会が認定するトリアージナースであること
 3. 救急外来に勤務しトリアージを実践しているもの、または月に1回以上、救急外来でトリアージが実践できるもの
 4. 以下のいずれかを満たすこと
 - 1) 2年の間にブラッシュアップセミナー1回参加、または、コースにタスク・プレインストラクターとして1回参加している。
 5. 上記要件を満たし、認定更新のためのトリアージ実践1事例を提出し、審査に合格していること
- 注意) トリアージナースコースのタスク、プレインストラクター、インストラクターの資格を有していてもトリアージナース認定の更新は必要である。

IV. レポートおよび基本情報の入力

1. 日本救急看護学会ポータルサイトから基本情報、施設背景、トリアージ実践レポート1例を入力する。
2. 更新対象者は決められた期間（7月1日から8月31日）に入力する。

V. 合否判定

1. 毎年9月1日から9月30日に審査を行う。
2. 審査要件と実践レポート1例の内容を確認し、評価基準を満たしたものを合格とする。
3. 更新しなかった者については、トリアージナース、タスク、プレインストラクター、インストラクターの資格を失効する。
4. 入力不備については不合格にし、コメントに再入力の依頼と入力期限の連絡をする。

VI. 倫理的配慮

実践課題に関しては、

1. 傷病者が特定されないよう倫理規定に準じて対応する。

2. 実践レポートは、今後のコースの発展にむけデータ化し分析する。

VII. 認定証の再交付

1. 上記対象要件を満たし、実践事例の課題評価に合格した者に対して、9月1日を新規資格有効期限開始日として認定証を再交付する。
2. 認定証は2年間の期限付きとする（認定された月日に関係なく8月31日の年度末までを有効期限とする）

VIII. 更新料：3,000円

1. キャンセルポリシーとして、本学会のセミナー、コースにお申し込みをした場合、開催日7日前までは返金をするが、それ以降のキャンセル時（セミナー、コース当日のキャンセルを含む）は、開催運用経費調整の都合上、返金はしない。

IX. その他

1. 更新レポートの入力に関する注意点
 - 1) 実践レポートは「適切なトリアージができた」事例を提出する。
 - 2) 事例は資格有効期限内に経験したものを提出する。

患者年齢	患者の年齢、月齢
性別	患者の性別
主訴	来院時の主な症状
JTAS code NO :	JTAS のコードNo.
実践年月日	資格有効期限内の実践年月日
トリアージ実施時間（開始）	トリアージを開始した時刻
トリアージ実施時間（終了）	トリアージを終了した時刻
1. 来院時の理由	
来院時間	来院した時間
来院時の理由	来院した理由を1行程度で簡潔にまとめる
2. 第一印象：気道・呼吸・循環・外観	
接触時間	患者に接触した時間
来院からの時間（分）	患者が来院してから接触までの時間
第一印象：気道・呼吸・循環・外観	3～5秒でぱっとみた印象を気道・呼吸・循環・外観に分けて記載する。
3. 第一印象からの判断と理由	Emergency or Sick or Not sick で評価し、その理由を記載する。
4. 感染スクリーニングの必要性の有無と実施内容	感染性疾患に関するアセスメントと感染管理を実施した場合はその内容を記載する。
5. 問診内容（本人及び家族よ	

り聴取)	
1) 現病歴	主訴がいつからどのように始まり、来院するまでにどのような経過をたどったのかということに記載する。
2) 既往歴・服薬歴	過去または治療中の病気 現在の内服
6. バイタルサインの評価	呼吸回数、血圧、脈拍、体温、意識レベルをすべて記載する。 バイタルサインの測定時に呼吸、循環、意識レベル、体温に関する所見があればここに記載する。 SpO2を測定した場合はここに記載する。 (JTAS レベルの判断に必要な内容の記載がない場合は入力不備となり不合格になる)
7. 身体所見	問診した症状、観察した身体所見、簡単な検査の結果を記載する。 (JTAS レベルの判断に必要な内容の記載がない場合は入力不備となり不合格になる)
8. 緊急度判断と対応	
1) JTAS レベル	JTAS を用いて入力する。
判断した時間	緊急度のレベルを判断した時刻を記載する
来院からの時間 (分)	来院してから経過した時間
2) 判断理由	JTAS のレベルを判断した理由を根拠に基づいて記載する。
3) 対応	緊急度判断をした後の対応
9. 再評価	
再評価時間	再評価を行った時刻
来院からの時間 (分)	来院してから経過した時間
1) JTAS レベル	JTAS を用いて入力する
2) 判断理由	JTAS のレベルを判断した理由を根拠に基づいて記載する。
10. 診断名と診療内容、転帰	
診療介入時間	診察が開始された時刻
来院からの時間 (分)	来院してから経過した時間
診断名と診療内容、転帰	診断名、診療内容、転帰を記載する。
トリアージの要約 (判断プロセスの要約)	トリアージのプロセスを要約する。
本事例を通しての学びと課題	学んだこと、自己の課題を記載する。

問い合わせ先：日本救急看護学会 へるす出版事業部内

トリアージナース育成検討委員会

e-mail : jaen@herusu-shuppan.co.jp